

■2018年度「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」第2期 採択事業一覧

気運醸成プロジェクト支援（8件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
公益社団法人能楽協会	見どころ！ぎゅっと凝縮・能楽アンソロジー 4つのテーマの新感覚公演	3,000	「能楽を楽しむのに、老若男女の別・障害・国籍は関係ない」をコンセプトにした新感覚の公演。日本が誇る最高峰の伝統芸能「能楽」の未来への継承と、あらゆる人々が楽しめる祝祭感あふれるエンターテインメント空間を目指す。
NPO 法人日本お祭り推進協会リアルジャパン'オン	日比谷大江戸まつり〈Hibiya Oedo Matsuri 2019〉	4,711	日本の伝統文化「お祭り」を軸に「歴史」、「伝統」、「芸能」、「食」などの豊富なコンテンツを提供し、江戸・東京の文化とポテンシャルをアピール、2020年への気運を醸成する。
スマイルズ	TheChainMuseum Tokyo Tokyo Fes 2020	4,560	日本が世界に誇る、食・テクノロジー・おもてなしを表現する作品「スープでハートを射抜く実装実験：ZKN2」を展示し、アートによるユニークな体験の提供を目指す。
株式会社インフィオラータ・アソシエイツ	東京インフィオラータ 2020 「ワールドフラワーカーペット in 東京」世界で最も美しい花の絨毯の祭典を東京で！	20,000	2年に1度のフラワーカーペットの世界大会が、2020年春に東京で開催される。世界40か国地域の花絵アーティストと、10,000人の市民参加者がチームとなり、壮大な作品を創り上げる。
一般社団法人エル・システムジャパン	世界子ども音楽祭 2020 in 東京：仲間と共に奏で、歌い、平和を祝おう	10,000	経済社会事情や障害の有無に関わらず、希望する子供たち全てに集団での音楽教育を提供するエル・システム。その子供たちが、世界中から東京に集結し、エル・システム出身、またはその理念に共鳴する音楽家と共に、社会包摂とインパクトある芸術創造の両立を目指す。
特定非営利活動法人芸術文化ワークス	inc.percussion days 2019-2020 'Xenakis et le Japon in TOKYO'	9,885	2019年春公演を皮切りに勉強会とリハーサルを重ね、2020年大会期間に「クセナキスと日本」を題材に、若手奏者による「18人のプレイアデスLIVE」を実現。海外ゲストを迎え国際交流を促し、次世代奏者への指導と育成を目指す。
特定非営利活動法人 東京画	渋谷 東京 好奇心 2018-2020 SHIBUYA TOKYO CURIOSITY 2018-2020	11,300	2018年秋にパリ、2019年春にベルリンに続いて2020年に東京で開催される展覧会。写真を通じて、世界の文化都市間での相互理解と共感の醸成を目指す。
合同会社 KUNIO, Inc.	古典×クリエイティブプログラム 2019→2020	3,241	現代における古典作品を捉えなおし、体験と研究を行う企画。二期目となる今回は、日本の歌舞伎と落語を角度を変えて見ることにより「観る人」の裾野を広げ、実際に創作の現場を体験することで世界に通用する舞台芸術を「創作する人・上演する人」の育成を目指す。

## 市民創造文化活動支援（5件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
東京カラオケまつり実行委員会	東京カラオケまつり 2019	15,570	日本から世界に広がり、日本発の文化とも言われる「カラオケ」。2018年に実施した同大会の規模を拡大し、東京2020に向け、国籍問わず老若男女に親しまれ誰もが主役になれる大会を開催する。
わーるどダンスフェスティバル 実行委員会	わーるどダンスフェスティバル in TOSHIMA2019 ～『ダンスで繋ごう世界と豊島』～	800	国籍、文化、年代を超えて市民に親しまれているソーシャルダンスを通じ、東京2020に向け、参加者・来場者に多様な主体との交流の場を提供し、多文化や障害に対する相互理解促進を目的とするダンスフェスティバル。
NPO法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団かぶつ・かんじゆく座による東京の島巡演の旅2019	1,656	都内の二つのシニア劇団が、東京島嶼部で巡演する。シニア世代の文化活動として演劇の魅力、芸術面、社会参加、健康面での効果を紹介し、シニア世代の活力の底上げを目指す。
一般社団法人日本オルガニスト協会	「オルガンは回る」～トウキョウ・オルガン・マラソン～	3,068	東京芸術劇場の「回るオルガン」に焦点をあて、子供や障害者を含む一般市民が体感する機会を作る。また、期間中に行うコンサートでは、オリンピックに関連した世界各国のオルガン作品を紹介。
医療ネットワーク支援センター	“200人の市民”と“アマチュア演奏家”が作る全く新しい音楽ソサエティ Tokyo Playing Music Camp	5,224	首都圏に避難している東北の被災者の心の復興を支援する活動を、東京2020を契機として拡大。あらゆる市民が主体となり、音楽を共に演奏する機会を創出する。2020年以降も自発的に続くあらたな文化コミュニティ形成を目指す。

## 海外発文化プロジェクト支援（6件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
株式会社パルコ	舞台「POLITICAL MOTHER～ Tokyo Cut～」	20,000	世界各国の最高峰の劇場で作品を上演した実績を持ち、イギリスを拠点としながらも多国籍のメンバーで構成されるホフェッシュ・シェクター・カンパニーと、日本を代表するアーティストたち総勢50名以上が作り出す大規模かつ革新的な東京公演。
株式会社オカムラ&カンパニー	バ(ロ)ック トゥー ザ フューチャー / Baroque to the Future 坂田直樹 ∞ イエルーン・ベルワルツ	3,653	国内外でその実力を評価される若手作曲家、坂田直樹と、技術と表現に並外れた才能を持ち、世界中の作曲家から敬愛される若きトランペッター、イエルーン・ベルワルツ。2人の音楽家による「古きを知り新しくを知る」新たな作品創造。
公益財団法人東京オペラシティ文化財団	カミュー・アンロ（仮題）	4,839	現代美術家として今、国内外から注目を集めている、フランス生まれ、NY在住のアーティスト、カミュー・アンロの、これまでと現在を総合的に展示する個展の開催。
ブリティッシュ・カウンシル	国際共同制作：ジェニー・シーレイ演出による障害のあるアーティスト（日本・英国・ブラジル・バングラデシュ）の舞台芸術作品「テンペスト（仮）」の上演	18,000	4か国の障害を持ったアーティストが東京に集まり、言葉、文化、障害の違いを活かして公演を行う。ロンドン・パラリンピックの共同演出を務めたジェニー・シーレイが演出し、日本の障害者アーティストが世界へと活躍の場を作る基盤構築を目指す。
株式会社東急文化村	HIROSHIMA 太田川七つの流れ	20,000	終戦50年記念の1995年に未完のまま上演したカナダ人演出家ロベール・ルパージュ作・演出の演劇作品を、終戦75年という新たな節目である2020年に、新バージョンとして甦らせ、完全版の日本初演を行う。世界平和を願う普遍的なメッセージを東京から世界に向けて発信する。
一般社団法人マルタス〇+	SUPER-T マーケット Amsterdam X Tokyo	7,759	向井山朋子によるキュレーションのもと、オランダと日本の第一線で活躍する世代・分野を超えたアーティストが東京に集い、「その場で観客に直接売れる作品を見せる」という共通お題目のもと作品を発表する。観客×パフォーマーという関係性に加え、アートと消費の課題を絡ませ、アーティスト活動の未来について会場全体で考察する。

## 未来提案型プロジェクト支援(5件)

(単位：千円)

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
東京ミッドタウンマネジメント株式会社	(仮称) 未来の学校祭 powered by アルスエレクトロニカ～School festival of the future～	16,000	先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像を提案し続けるアルスエレクトロニカの協力のもと、来場者とともにデザインやアートを通じて、学校では教えてくれない未来の社会について考える新しいお祭り。
株式会社ライゾマティクス	Super Flying Tokyo 2019	9,000	デジタルクリエイティブにフォーカスしたフォーラムセッション&イベント。世界の第一線で活躍するクリエイター、開発者らを東京に招き、ディスカッションやワークショップなどを通じて世界的な変化を読み解き、共有する。創造性を集積し、未来に向けての可能性や課題を東京から発信する。
株式会社 SIL	STREET × TECH : ストテク vol.1	1,000	「ストテク」とは、日本が誇る世界最高峰のストリートカルチャーとテクノロジーアートを、日本文化が交差する街＝東京で出会わせるイベント。いまだ日の目を浴びていない双方に光を当てると同時に、文化の垣根を超えた共創から、世界に通用する東京発の新たな表現分野を誕生させる。
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一&日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト Vol.3 音の共感覚化・身体化による新たなオーケストラ音楽体験創出事業(仮称)	10,000	テクノロジーを用いて音楽のもと、人間の全体的感覚を拓くことを目指すプロジェクト。第3弾は、「触覚と聴覚」をテーマにオーケストラ音楽鑑賞体験の共感覚化・身体化を目指す。同時に、テクノロジーの活用により、障害などを超えた真のダイバーシティの演奏会を実現する。
サードリサーチ開発研究室	Tech-Art Symposium: テクノロジーとしてのアート	3,477	ガヤトリ・スピヴァク、ヒト・シュタイエルを始めとする思想家、アーティスト、開発研究者を東京に招聘し、イメージを用いた知的生産の場として現代アートを再定義し、AI技術を介して現代アートと現代思想の接合を試みる、テックアートシンポジウム。